

令和4年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

—震災記録を次世代につなぐ—

開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、「東日本大震災アーカイブシンポジウム」を開催いたします。

東日本大震災から11年が経過しました。震災が伝える経験や教訓を語り継ぎ、未来に生かしていくことの重要性がますます高まっています。

本シンポジウムでは、今、アーカイブや組織を構築する意義と取り組みについて、震災アーカイブを現在構築中の岩手県宮古市、令和3年4月に新設された復興庁復興知見班から報告するとともに、国立国会図書館からはひなぎく（国立国会図書館東日本大震災アーカイブ）公開10年にあたりひなぎく構築の経緯と現在の展開を、東北大学からは災害科学国際研究所の設立10年にあたり、みちのく震録伝の活動を振り返ります。

○日時及び開催方法

日時：令和5年1月9日（月曜・祝日） 午後1時から4時まで
（開場：12時30分）

会場：東北大学災害科学国際研究所多目的ホール
（仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）

開催方法：有観客による開催のほか、会場の映像をウェブ会議システム（Zoom）を用いて事前登録者に対して同時配信します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン開催のみへの変更があり得ます。

○申込方法

(1)定員：会場90名、オンライン300名

（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）

(2)参加費：無料

(3)申込み：下記URLのシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。

<https://www.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/symposium/20230109/>

（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野

担当：柴山

電話番号：022(752) 2099 E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp